

# 第4期 pES club step4 大会看護学生シナリオ

平成17年7月31日

聖路加看護大学 母性看護・助産学研究室

江藤 宏美

虎の門病院分院 内科総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは、いいお産クリニックの1年目の看護師です。

いいお産クリニックでは、プライマリー制をおこなっていて、今日は受持ちの<sup>おしおみちる</sup>大潮満さんが外来に受診の日なので、出勤しました。

満さんは28歳、初産婦で、現在妊娠15週になったところです。これまでの経過は順調で、特に問題となるリスクはありませんでした。満さんは、妊娠中の過ごし方や、お産のようす、産後のことについていろいろ興味をもって、よく尋ねてきます。

健診が終わった後、あなたは満さんに呼びとめられました。

あなた「お疲れさまでした。今日の健診でも、赤ちゃんは順調で、満さんも調子よさそうですね。」

満さん「はい、つわりもないようですし、そろそろ赤ちゃんが動く頃かなあ。このまま、お産まで順調にいくといいなと思っています。ところで、『お産をした後、咳をしたり、ちょっとお腹に力が入ると、おしっこが漏れやすくなるわよ。』と母が言っていたんですが、本当ですか。」

あなた「そうですね。お産で骨盤の関節や筋肉が緩むんでしょうね。気になりますよね。」

満さん「それって、予防できるんですか？もしできるとしたら、今のうちからなにかやっておいた方がいいのかしら・・・」

あなた「じゃあ、産後におしっこの漏れを予防することができるかどうか、調べてみます。次の健診の時に話しするということでもいいですか。」

このようにして、あなたは産後の骨盤周辺の状態と、尿もれを防止するための手段について、満さんに説明することになりました。